

# 第27回小出記念日本語教育研究会

日時：2018年6月30日(土) 11:30~16:40

会場：国際基督教大学

参加費：会員 無料 ・ 非会員 2,000円 (当日入会可)  
事前申込は不要・会場内に「子ども用フリースペース」あり

◆◆◆ 講演 ◆◆◆ 本館 1階 116号室

## 「言語技術トレーニング」から明日の日本語教育を考える

【講師】 三森ゆりか氏 (つくば言語技術教育研究所 所長)

世界の多くの国や地域では、母語教育の一環として表現の方法論を具体的なスキルとして指導する「言語技術」(Language Arts)教育が行われています。これは「言語技術」が言語能力自体の向上に関わるだけではなく、学校教育の全ての科目、社会の全ての仕事の土台だと考えられているためです。本講演では「言語技術」教育の理念と具体的な方法論について学びます。参加者の皆様がそれぞれの現場を意識し、明日の授業実践を変えるヒントを得て、さらに、これからの日本語教育を考える機会となれば幸いです。多くの方のご参加をお待ちしております。

### ◆ 口頭発表 ◆

【第1会場】本館 1階 170号室	【第2会場】本館 1階 168号室
学習者の自己実現を支えるものは何か — 震災を経験した原子力専攻の元留学生のライフストーリーより — 田中敦子 (慶應義塾大学) ・ 池田朋子 (マギル大学)	台湾人日本語学習者の音韻情報処理に対する日本語単語親密度の影響 陳相州 (東呉大学)
質問づくりの手法を取り入れた口頭表現能力向上の試み 堀恵子 (東洋大学) ・ 世良時子 (成蹊大学) 大隅紀子 (東京大学)	CM制作を通じた日本語表現活動 渡辺倫弥 (ABK学館日本語学校)
タイ人日本語教師Bの初任期から4年間のビリーフの形成と要因 — PAC分析を用いた縦断的調査から — 内田陽子 (国際交流基金) ・ 坪根由香里 (大阪観光大学) 八田直美 (国際交流基金) ・ 小澤伊久美 (国際基督教大学)	中国語母語話者の韻律特徴 — 文章朗読におけるdephrasingの生起について — 布村猛 (東京外国語大学大学院生)

### ◆ ポスター発表 ◆

【第1会場】本館 1階 152号室	
日本語教育における「教師の教室内発話」の意識についての研究 — 「ティーチャー・トーク」をオルタナティブに拓く — 樫佳世 (大連外国語大学)	自律的学習者の育成を目指した個人学習プロジェクトの実践報告 池田雅美 (マサチューセッツ工科大学)
中級クラスにおける自動詞・他動詞の実験授業の報告 — 語彙教育・文法理解と状況理解を目的として — 江田すみれ (日本女子大学) 相澤早帆 (日本女子大学大学院生) ・ 白鳥藍 (同)	多読における自作本作成プロジェクトの実践 — アウトプットに映し出される自己表現の形 — 吉村由紀 (マサチューセッツ大学アマースト校) 小林久子 (コナット・ワールド・カレッジ ISAKジャパン)
【第2会場】本館 1階 155号室	
留学生キャリア教育における異文化交流授業報告 杉本あゆみ (元滋賀文教短期大学)	日本の大学でのタンデム学習に対するビリーフ ラーソン・ベンジャミン (東京外国語大学大学院生)

詳しいプログラム(時間および会場)はウェブサイトをご参照ください <http://koidekinen.org/>

小出記念日本語教育研究会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 桜木研究室気付



主催：小出記念日本語教育研究会 / 後援：国際基督教大学 グローバル言語教育研究センター